

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人 愛広会	代表者	池田 弘	法人・事業所の特徴	令和4年4月で9年目を迎えます。近隣には同法人の病院や老人保健施設等があり、他職種からのアドバイスや利用の相談等、必要に応じた連携が取られており、ご利用者、ご家族、職員の安心感に繋がっています。当事業所は明るく元気な職員が多く、居心地の良い空間作りにも力を入れています。その人に応じた活動や交流をしながら、笑顔・愛情を持って支援を行っています。
事業所名	リビングサポート はやどおり	管理者	清野有紀子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	人	人	人	1人	2人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自己評価で出来ていない部分を改善できる具体的な項目は実践に繋がるまで職員間で話し合い達成できるよう努める。情報収集、共有方法を振り返り見直す。	・常時、ミーティング等を活用し情報共有を行った。コロナ禍のため積極的に情報収集することが出来ない状況もあった。	・コロナ禍の環境下で地域との係り方が難しい。ご利用者のヒヤリハットには十分に気を付けてスキルを高めてほしい。 ・一人一人が自己評価に良く取り組んでいると思う。 ・前回の課題に対して改善が見られ、できない点も明確化されて次回につなげられていると思う。今後も事業所の特徴を活かしてほしい。(自己評価のみ書面で確認してもらい、ご意見頂きました)	・自己評価で出来ていない部分を改善できる具体的な項目は実践に繋がるまで職員間で話し合い達成できるよう努める。情報収集、共有方法を振り返り見直す。
B. 事業所のしつらえ・環境	・ご利用者との共同作品が盛んである事をアピールポイントに、当事業所に携わる全ての人たちが居心地良い空間作りを目指す。	・玄関入ると季節に合わせた作品が出迎えるよう、明るく、楽しめる空間を心掛けた。ご利用者主体で作られた作品は外部の方にも好評だった。	・推進会議を開催していないためご意見いただけていません。	・ご利用者との共同作品が盛んである事をアピールポイントに、当事業所に携わる全ての人たちが居心地良い空間作りを目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	・地域の方々に知って頂けるようになり、その繋がりが途切れないよう、コロナ禍でも地域の方々との関わり方法を考え、実行する。	・新型コロナの影響で地域との関わりは殆ど出来ない状況であった。	・推進会議を開催していないためご意見いただけていません。	・地域の方々に知って頂けるようになり、その繋がりが途切れないよう、コロナ禍でも地域の方々との関わり方法を考え、実行する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・新型コロナが落ち着き次第、以前のようなドライブやイベント参加を計画していく。天気の良い日は散歩を積極的に計画し、ご利用者の気分転換に努める。	・コロナ禍で行事、イベント参加、外出(散歩やドライブ等)は殆ど出来なかった。近所のスーパーへ買い物同行などの支援を積極的に行った	・推進会議を開催していないためご意見いただけていません。	・新型コロナが落ち着き次第、以前のようなドライブやイベント参加を計画していく。天気の良い日は散歩を積極的に計画し、ご利用者の気分転換に努める。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・コロナ禍のため、会議が中止の時は分かりやすい資料作りに努める。会議が開催される時には、お互いの要望や課題について意見交換を充実させる。	・新型コロナの影響で会議を開催することができなかった。会議資料について事業所の雰囲気など伝わりやすいよう作成した。	・推進会議を開催していないためご意見いただけていません。	・まずは会議の開催を目指し会議を通じて事業所や地域の課題について意見交換を確実に行う。改善、検討案等を活かしサービス向上につなげる。
F. 事業所の防災・災害対策	・事業所の防災計画、防災マニュアルを配布し、内容を知って頂く。新型コロナが終息し地域の防災訓練に参加、及び近隣の方々参加型の事業所の避難訓練を計画する。	・コロナ禍でも年間防災計画に添って訓練を実施した。常に防災意識を持って取り組むことができたが、地域への参加や近隣住民参加の防災訓練は実施できなかった	・推進会議を開催していないためご意見いただけていません。	・事業所の防災計画、防災マニュアルを配布し、内容を知って頂く。新型コロナが終息し地域の防災訓練に参加、及び近隣の方々参加型の事業所の避難訓練を計画する。